

■キャリア支援特集



一人ひとりに寄り添う キャリアデザインを

— 関西大学で描く「なりたい自分」 —

大学生の最大の関心事の一つ、「卒業後の進路」。新たな技術革新や価値観の多様化により、社会が目まぐるしく変革し、少し先の未来でさえ不確実で予測困難な状況の中で、早い段階から自身のキャリアを描いていく機会をつくり、確かな力を身につけ、アップデートし続けていける人材に成長することが大切です。

関西大学では、社会の課題解決に向けて考え、行動することができる「考動力」と、新たな価値を創造し、多様性を生み出すことのできる「革新力」を育成しています。学生たちがキャリアの開発を主体的に捉え、行動を起こす力(=キャリアオーナーシップ)と、社会における自身の役割を見出し、周囲に価値を届ける力(=ジョブオーナーシップ)を育めるように、早くから社会の一員として活躍することを意識し、大学生活をアップデートできる機会を提供しています。

目標に向かって挑戦するための 基礎体力を育む学生生活を

3月1日、2025年春に卒業予定の大学生・大学院生を対象とした採用広報解禁され、就職活動が本格的に始まりました。各業界での人手不足に加え、コロナ禍で落ち込んでいた企業の採用意欲は、製造業でも非製造業でも概ね回復しており、学生にとって有利な「売り手市場」の傾向は当面続く予想されます。

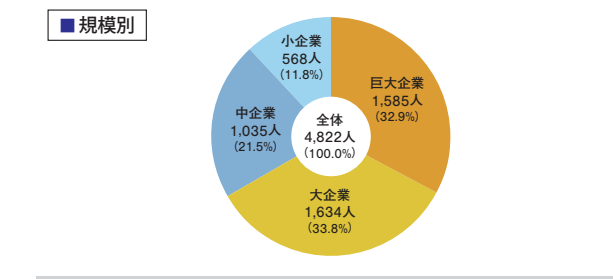
しかし、一方で安易な進路選択により、採用する側と採用される側の十分な相互理解がないまま、残念ながらミスマッチを引き起こしてしまうことも想定されます。

キャリアセンターでは、早期の段階で自身の将来を主体的に見据え、自らの進路・将来を定めるキャリアデザインの実現に必要な能力を高めるために、いわゆる「就職活動」の支援にとどまらず、1年次生から参加できるガイダンスやさまざまなプログラムを数多く用意しています。

例えば、自由に活用できるWebツール「関大版ハタチのトビラ」は、学生が将来を考える上で出てくるさまざまな悩みを解決することに、また、正課内外の活動結果や成果等のいわゆる「ガクチカ」をまとめて記録・保管できる「キャリア支援専用ポートフォリオ」は自己分析や適性判断に活用することができます。

さらに、就職活動の段階では、各種対策講座や業界研究・企業研究セミナー、学力試験対策、OB・OG懇談会等の提供にとどまらず、キャリアに関する専門知識や実績を持つ相談員やスタッフが年間を通じてFace to Faceで学生との個別相談に対応する等の支援をしています。

2023年3月卒業生の就職状況を振り返ると、本学学生の就職率は98.5%（理工系3学部は99.9%）で前年度と比べて0.2ポイント上昇しました。規模別状況では、巨大・大企業への就職率が合計で66.7%、中企業は21.5%、小企業は11.8%となりました*。

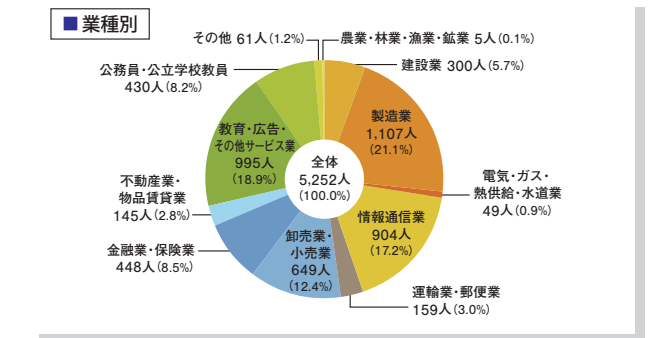


*巨大企業=従業員3,000人以上 大企業=従業員2,999人~500人
中企業=従業員499人~100人 小企業=従業員99人以下

●キャリアセンター所長
平野 義明



業種別状況で見ると、製造業、情報通信業、卸売業・小売業への就職率が約半数を占めています。前年度と比べて、製造業の割合が増加し、反対に、教育・広告・その他サービス業の割合が減少しました。



この2月、本学初の卒業生調査の結果が公表されました。調査項目のうち、「仕事やキャリアに対する満足度」や「ウェルビーイング(より良く生きられている実感)」について、平均値に着目すると、現在の仕事やこれまでのキャリアに満足し、成長意欲が高い傾向にある一方、仕事に必要なスキルを自主的に学ぶこと、社会的評価よりも自分の価値観を優先することや常に目標を持ち続けることについては低い傾向にあり、社会に出てから学びを続けることや自分軸を形成することの困難さがうかがえました。

不確実で予測困難なVUCA時代の到来とともに、安定したルールにさえ乗れば安泰という時代ではなくなりました。新たな価値観によって大きく変貌する社会を進むために、膨大な情報から「本当に必要なもの」を選び取る力を養えるかどうか、それは学生時代をいかに能動的に、有意義に過ごせるか、つまり自分自身の意識にかかっています。キャリアデザインは社会に出るまでだけではなく、むしろ社会に出てからこそ必要となるものです。キャリアセンターは、学生のうちに自身のキャリアを常にアップデートしていける基礎体力を身につけられるよう、今後も支援を続けてまいります。

Career Design

■キャリア支援特集

キャリアデザインで 充実の学生生活を



◀ 関西大学キャリアセンター ▶

「キャリアデザインとは？」を考える

●キャリア教育科目群

共通教養科目の一つに「キャリア形成科目群」を設置し、自身のワークキャリアとライフキャリアをデザインしていく科目を開講。他の共通教養科目群で身につけた総合知や学部の専門教育科目で身につけた専門知を長期的な視野でキャリアデザインへ展開していくプロセスを学ぶことで、大学で学ぶ意味を明確にします。

授業では、文章表現やワークシート、グループワークを交え、自己と社会に対する理解を深めながら、両者の関わりを考察し、学生が自らの将来を考える機会を提供します。

キャリア形成科目群 開講科目 (2024年度予定)

- ◆大学生から始めるキャリア形成
- ◆現代社会を生き抜くためのキャリア形成
- ◆キャリア形成入門演習
- ◆キャリア形成実践演習
- ◆理論と実践から探求するキャリア形成
- ◆インターンシップ(ビジネス) ◆インターンシップ(学校1)
- ◆インターンシップ(学校2) ◆インターンシップ(学校3)



●キャリアデザインブック

キャリアデザインの入門書として、キャリアデザインの進め方だけでなく、充実した学生生活を送るために、関西大学が提供する支援やプログラムを紹介。企業への就職だけでなく、公務員や教員になるためのプロセスや大学院進学に関する情報も提供しています。

●学部の学びの特徴に合わせた行事

理工系学部生は就職だけではなく、大学院進学も多いため、それらも視野に入れた進路選択が必要です。そこで、現場見学や理工系職種への解説をはじめ、理工系学部の卒業生のお話を聞く「KANDAI FAMILY 講座」を実施。

また、千里山キャンパス以外に、高槻・高槻ミュージズ・堺キャンパスでは、学部の特徴に合わせて、ITや安全・安心を支える業界に特化したセミナーや、スポーツや福祉コース学生の就職活動を支援する独自行事を展開しています。

関西大学のオリジナル支援ツール — 就職活動をする関大生の必需品 —

●KICSS (関西大学インターネットキャリア支援システム)

就職活動をする関大生に欠かせないKICSS。約32,000件の企業・公共団体の企業情報や求人情報がデータベース化されているほか、キャリアセンター主催行事の案内や関西大学独自の採用情報から国家試験や各種資格に関する情報まで常時発信しています。



●関西大学キャリア支援専用ポートフォリオ

日々の学修や活動をポートフォリオとして記録・保管し、自身の進路選択に役立てることができます。また、適性試験や性格診断、業界研究や職種研究などに役立つWebサイトやポートフォリオをもとに自己PRやガクチャのアウトプットに便利な「OpenES」等にもリンクしています。



●Career Support Book

履歴書の書き方やビジネスマナーだけではなく、自己分析や書類作成、業界研究等の就職活動に必要な情報に加え、スケジュール帳までも兼ね備えた1冊を学生に配付しています。

1~2年次 自分を磨き、キャリアデザインを始めよう



自らの知識を増やし、スキルを磨きながら仕事や社会について学びます。また「なりたいたい自分」を見つけ、そのための準備をします(=キャリアデザイン)。

(詳細はコチラ)



社会と出会い、社会人基礎力を育む

●企業連携型キャリアスタートプログラム



各業界をリードする企業と連携した体系的な通年のプログラムを提供。連携企業の社員との対話や実践ワーク、産学連携によるPBLプログラム等を通じて社会で働くことのリアルに触れ、学部で専門性を磨くことの意義を明確にするとともに、社会で求められる変化適応力や自己探求力を養います。

連携企業 (2024年度予定) (50音順)

NTT西日本/コクヨ/ダイハツ工業/TOPPAN/ロッテ/ワコール

〈VOICE：学生の声〉 桑原 萌映さん (経済学部3年次生)

コロナ禍でスタートした大学生生活。2年次は何かかに挑戦したいと思って、友人とはなく一人での参加を決めました。前期プログラムで基本的なスキルを磨いた後、後期プログラムで取り組んだ「アパレル店舗の新企画提案」では、約3か月の間、チーム5人で意見を出し合い、取りまとめ、実際に企業の方の前でプレゼンをしました。その後のフィードバックでは新しい気付きや今後のヒントもあり、一足先に社会に出ることを実感できたのは貴重な経験でした。



3年次 就活に向けて準備をしよう 働く世界を知ろう

インターンシップ等への参加、各種講座の受講、OB・OGとの交流を通じて、本格的な就職活動の準備・対策を進めていきます。



●就業体験・インターンシップ

関西大学では1年次生から参加できる就業体験・インターンシップのプログラムを提供しています。より高い教育効果を発揮できるよう、働くこと、社会の一員になることの意味や基本的な礼儀作法を学ぶ事前講座と、就業体験・インターンシップを振り返り、今後の進路選択や就職活動への生かし方を学ぶ事後講座を実施し、質的な充実を図っています。

実施プログラム (2023年度実績)

- ①KU協定型就業体験プログラム(夏季休業期間中実施)
- ②学外公募就業体験・インターンシップ ③学校インターンシップ
- ④学芸員インターンシップ ⑤監査法人インターンシップ
- ⑥アドバンスドインターンシップ ⑦知財インターンシップ
- ⑧法科大学院エクスターンシップ

〈VOICE：学生の声〉 郷緒 祐助さん (社会学部3年次生)

3年次の4月にキャリアセンターの就職ガイダンスに参加したことで、就職活動前にいろいろな業界を見たいと思い、3年次の夏休みに不動産、食品、金融等9社の就業体験・インターンシップに参加しました。そこで感じたのは、イメージと実際の違い。例えば、一言で営業と言っても、業界ごとに特色があります。実際に業務の内容や社員の方のお話等に触れたことで、自身の適性や関心のある業界を具体的にイメージすることに繋がり、就職活動に前向きに取り組むことができています。

●OB・OG懇談会

2020年度、各方面で活躍する卒業生によるキャリア支援組織として「関西大学キャリアアドバイザーネットワーク(KU-CAN)」を設立。約60人(2024年3月現在)の卒業生から、セミナー等では語られない企業や仕事の醍醐味や自身が同僚として一緒に働きたいと考える人物像などが聞ける機会を年に数回提供しています。



4年次 進路を決めよう

各種支援プログラムや、セミナーなどに参加しながら、一人ひとりに合った進路をめざします。



●キャリアサポーター

就職活動を終えた4年次生がキャリアサポーターとして、キャリアセンターと連携し、後輩の就職活動を支援しています。就職活動経験者ならではの目線で、学内イベントや個別相談会で自らの実体験や具体的なノウハウをアドバイスします。



早期から計画的な準備が必要な 進路の支援

公務員 公務員は、国家公務員と地方公務員に大別され、どちらも職種や業務内容によって仕事内容だけではなく、採用試験や試験時期にも違いがあります。このため、早期から公務員の仕事を知り、しっかりと志望理由と目的意識を持って準備を進めることが重要です。

キャリアセンターでは、公務員に関心のある1・2年次生対象に「公務員基礎講座」を提供。全学年対象としては「公務員セミナー」「公務員採用試験・業務説明会」等を開催することで、近年、人物重視が高まっている公務員採用試験に対応できるよう支援しています。

公務員就職状況 (2022年度実績)

国家公務員 95人 / 地方公務員 249人

教員 関西大学では小学校・中学校・高等学校の教員免許を取得することができます(免許の種類・校種・教科は、学部・研究科で異なります)。将来、教員になるためには、教員免許の取得に必要な科目を1年次から計画的に履修することに加え、早期から教員採用試験受験のための準備が必要になります。

教職支援センターでは、教員養成から就業支援までを一括して行う拠点として、実務経験豊富なアドバイザーや事務スタッフが、教員をめざすみなさんの相談に応じています。

教員採用状況 (2022年度実績)

公立学校 60人 / 私立学校 18人

■キャリア支援特集

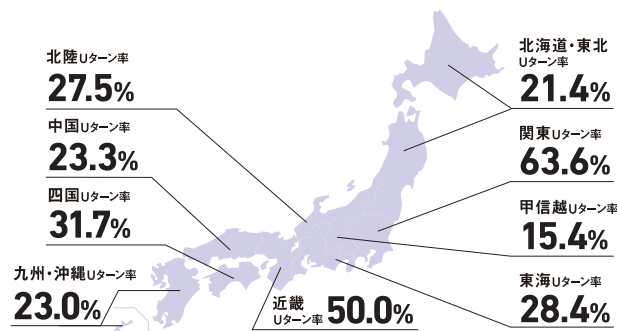
学生の希望や状況に合わせた支援

U・Iターン就職 — 住み慣れた地元や住みたい地域で活躍したい！ —

全国から学生が集まる関西大学では、住み慣れた地元や住みたい地域での就職を希望する学生のために、現在21府県(2024年3月現在)と協定を締結し、関西圏から離れた地域での情報を収集し、提供しています。

U・Iターン就職は、全国規模で採用活動を展開している企業に比べ、採用情報が少なく、特にUターン就職は、希望する学生だけでなく、地元で暮らす父母にとっても、動向や状況が気になります。そこで、父母が実際にキャンパスに来るタイミングや大学関係者がキャンパス外に出向く懇談会を活用し、キャリアセンター職員や地元地方自治体等の団体等が個別相談ブースで対応しています。

■エリア別Uターン就職状況(2020年～2022年過去3年間の実績)



就職に関する協定締結府県(自治体)(締結順)

広島県/徳島県/香川県/高知県/愛媛県/鳥取県/岡山県/山口県
石川県/熊本県/三重県/福井県/島根県/静岡県/岐阜県/愛知県
和歌山県/京都府/福岡県/富山県/宮城県

父母対象行事(2023年度実績)

- 5月……教育後援会総会(千里山キャンパス)
- 6～11月……地方教育懇談会(全国16都市)
- 10月……就職説明懇談会(3年次生父母対象)(千里山キャンパス)
キャリアデザインセミナー(1年次生父母対象)(千里山キャンパス)
- 12月……キャリアプランニングセミナー(2年次生父母対象)(千里山キャンパス)

留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS — 日本で就職活動する留学生の強い味方 —

留学生就職支援コンソーシアムSUCCESSは、「キャリア教育」「ビジネス日本語教育」「インターンシップ」を柱とした各種支援により、産官学による高度外国人材の育成と国内企業における定着促進に取り組み、日本社会のDE&I促進にも寄与することを目指しています。現在、全国18の国公私立大学会員と賛助会員5機関が参画し、関西大学国際部が事務局運営を担っています。会員大学の留学生を対象に、日本での就職に必要なスキル(異文化間コミュニケーション力、計画・調査力、自己管理能力等)を習得するための多様な支援メニューを提供しており、関西大学で学ぶ留学生も活用しています。留学生が企業から内定を得ることだけを目的とするのではなく、日本社会で長期的に活躍できることを視野に入れた支援をしています。



企業説明会の様子



(詳細はコチラ)

支援メニュー(2023年度実績)

- 就職支援集中講座 ●SDGsから考えるビジネスプランニング講座
- ビジネス日本語(BJT)セミナー ●オリジナルインターンシップ
- Future Design Project
- 地方自治体及び賛助会員等との連携による講座、セミナー他

エクステンションリードセンター — 各種資格や難関国家試験に挑戦する学生を支援 —

これからの時代に、より一層必要とされる自律的なキャリア形成を支援するために、大学構内に設置されたエクステンションリードセンターでは、各種資格や難関国家試験に挑戦するための対策講座を開講し、学生を支援しています。所属学部や研究科の枠を超え、通いやすい対面形式や利便性の高いオンライン形式等、効率的で教育効果の高い形態の講座を関大生向けの受講料で提供しています。関西大学の学年暦に配慮した時間割の設定、オフィスアワー等の充実した学習サポート、同じ目標を持つ関大生同士のつながりが学生の学習意欲の向上につながっています。

(詳細はコチラ)



開講講座(2023年度実績)

- 各種英語講座 ●公務員講座 ●デジタル関連講座
- 簿記・会計系講座 ●各種資格取得対策・スキルアップ講座



〈VOICE: 学生の声〉 吉田 彩乃さん(商学部2年次生)

将来、留学するにも、就職するにも英語力は必要だと思い、TOEICの講座を受講しました。講座では発音やペアワークもあり、効率的に4技能を鍛えることができました。TOEICは自身の英語力をスコアで知ることができ、苦手分野の把握と克服に役立ちました。また、講座外でも、講座で教わった表現や単語を意識して使い、少しずつ表現できる幅を広げるよう心がけました。大学卒業後は観光に携わる公的な機関で自身の英語力を発揮したいと考えているので、さらにスコアアップをめざして、学習を続けています。

起業というキャリアも視野に

働き方はまさに生き方とも言えます。価値観が多様化する中で、関西大学ではスタートアップ支援やアントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成する機会を提供し、起業家もしくは起業家のように考動する人材の育成にも取り組んでいます。

授業では、共通教養科目の関西大学科目群で所属学部の枠を超えて「起業に学ぶ「考動力」入門(関大出身起業家と考える未来の自分)」や「起業に学ぶ「考動力」実践(企業と考える未来のデザイン)」を開講しています。また、一般社団法人ベンチャー型事業承継と連携し、実家が家業を営む学生を対象に、家業の経営資源で開発する新規事業について学ぶ「ビジネス研究(次世代の後継者のための経営学)」を開講。2019年度からは「大学コンソーシアム大阪」の提供科目として、大学の枠を超えて、大阪府下40大学の学生に受講されています。

また、関西大学の大学昇格100年を機に、2022年度に「関西

大学山岡塾」を創設。塾では、社会的課題の解決に向けて、教職員や校友等から専門的な助言を得ながら、チームで実践的に取り組んでいます。

そして、イノベーション創生センターでは学生対象のアントレプレナーシップ醸成イベントや起業に関する勉強会等の取組みを、さらに、関西大学梅田キャンパスでは、志ある起業家を輩出することを企図した起業プログラム「HACK-Academy」を実施。最前線で活躍する起業家や新規事業担当者がメンターとなり、学生の起業目的の明確化からビジネスモデルの構築、サービスをローンチするまでのサポートを行う本格的なプログラムを展開しています。

STEP1: 目的の明確化

起業マインドの醸成 何をしたいのか? なぜ起業するのか? → まずは疑問を解決するところから始めます

●スタートアップカフェ大阪

起業支援経験の豊富なコーディネーターが起業相談に応じるとともに意識を喚起するイベントを定期的に開催しています。

●イノベーターズトーク

ビジネスの第一線で活躍中の若手起業家と学生とが交流できるトークイベントを開催し、起業マインドを醸成します。

●企業見学会

先進的な取組みや事業を展開する企業を訪問、見学し、会社関係者と社内起業や新規事業の立ち上げ等についてディスカッションします。

●Mission Lounge

起業や新しいことに関心のある学生が集まるイノベーション創生センター公認学生コミュニティ。80人を超える学生が登録し、情報交換の場となっています。

●HACK-Academy

自分の実現したいことを内省化し、ビジネスの土台となる志や想いを形づくらします。

▶その他にも、スタートアップ企業へのインターン促進、海外企業プログラム実施、KU-CICニュースレターの発行 等

STEP2: ビジネスモデルの検討

シーズの価値評価 誰を対象に何を提供するのか? 事業として継続できるのか? → 社会的ニーズやビジネス性の調査とコンテストで腕試し!

●HACK-Academy イノベーション・キャンプ

実際に事業を開始するにあたり、顧客ニーズの深堀りからビジネスとしての有用性を検討します。起業家や事業開発の専門家がメンターとなり、事業開発を支援します。

●ビジネスアイデアコンテスト「SFinX」

関西大学理工系の研究成果をテーマに、所属学部・研究科の枠を超えて、学生が事業化に向けたビジネスアイデアを競います。

▶その他にも、アイデアソン・ハッカソンへの参加、起業家等によるメンタリング 等

STEP3: 事業計画の具体化

事業計画の立案 仕入れや生産ラインは? 組織構成や財務計画は? 資金の調達 自己資金や外部資金はどうする?

●HACK-Academy インキュベーションプログラム

事業開発を専門とするパートナー企業と連携して事業化を加速すべく、事業計画書の作成からサービス開発まで学生のスピード感に合わせたサポートを行っています。

●関西大学起業資金支援制度

学生や専任教員が立ち上げるベンチャー企業を対象に起業時の必要資金等を支援するため関西大学独自の制度を整えています。

▶その他、土業や専門家による個別相談 等

▶その他、ベンチャーキャピタルや連携金融機関の紹介 等

STEP4: 創業・事業の本格稼働

黒字化をめざす 商材のPRと販路の開拓や拡大が収益につながる仕組みをつくります

▶レンタルオフィススペースの提供、関西大学出身起業家交流会の開催、協力企業・団体のサポート 等